

第5回

水木十五堂賞 授賞式

第5回受賞者は、

しまりえこ
島 利栄子さんに決まりました。

島 利栄子さんは、従来注目されることが少なかった庶民、特に女性の日記の蒐集を行い、その時代を生きた人々の想いを表現するとともに庶民の暮らしを実証する貴重な資料として保存、活用し、次代に正しく伝えることに貢献されています。



<島 利栄子さんプロフィール>

1944年長野県生まれ。結婚後、夫の職場の関係で北海道や山口県などに移り住む。現在は千葉県八千代市在住。1996年に「女性の日記から学ぶ会」を設立。代表を務める。

授賞式・記念講演を

開催します。

参加無料
要申込
先着 900人

授賞式（賞状・記念品・副賞の授与）、島利栄子さんの受賞記念講演と記念座談会の開催を予定しています。

◆日時 平成29年1月29日（日）
13時30分～16時30分（予定）

◆場所 やまと郡山城ホール 大ホール

◆定員 900人（申込先着順）

◆申込 12月7日（水）から、郵便番号・住所・名前・電話番号・参加人数（3人まで）を、電話・FAX・メールで下記事務局へ。または市ホームページから。

※定員（900人）に達した場合、受け付けを終了します。
※申込者には後日、参加券を郵送します。

◆申込先・問合せ

水木十五堂賞運営協議会事務局（市役所企画政策課内）

☎ 53-1160・FAX 53-1049・✉ mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp

水木十五堂賞とは…

明治～昭和にかけて市内豆腐町に居住し、大和の歴史や文化など幅広い分野に関する蒐集と博識から、いつしか「大和の水木か、水木の和か」と呼ばれ、大和を代表する研究者、文人であった水木要太郎（十五堂は雅号）の功績にちなみ、平成24年度に創設。歴史、伝統文化、自然など様々な分野で蒐集を行うとともに、博識をもって社会に貢献した人物を表彰します。



水木 要太郎（1865～1938）

「収集家100年の軌跡－水木コレクションのすべて」（国立歴史民俗博物館展示図録）より

水木十五堂賞 歴代受賞者

- 第1回 荒俣 宏（博物学者・作家・評論家）
- 第2回 肥田 皓三（元関西大学文学部教授）
- 第3回 四代目 市川 猿之助（歌舞伎役者）
- 第4回 辻本 一英（阿波木偶箱まわし保存会顧問）



（敬称略）